

令和7年9月5日(金)



台風 15 号の接近に伴い東海・関東・東北にかけて広く線状降水帯発生の可能性が高くなっていることから、本日の 3 年校外学習は、延期を決定しました。各ご家庭には、早朝のメール配信となりましたが、ご対応くださりありがとうございました。生徒たちは、校外学習に向けて事前学習や行動計画など様々な準備を行い、昨日は学年集会も開いて気持ちを高めてきましたので、とても残念な気持ちです。今、学年の先生方で延期日の調整を行っています。また、気持ちを改めて、仕切り直しをしていきたいと思います。

第 50 期生徒会役員選挙に向けて、立候補者が出そろいました。昨日から登校時の選挙活動も始まりました。立候補者とその応援者が昇降口の前に立ち、「おはようございます」「よろしくお願いします」と登校してきた生徒たちに声をかけています。初めは声が小さく遠慮がちだったのですが、だんだん大きな声を出せるようになってきました。お昼の政見放送も始まっています。



生徒会活動は、生徒自身による自治的活動として一人一人が主体的にかかわっていくことが大切です。また、生徒会役員選挙は、民主主義の基本的なルール及び選挙への関わり方について学ぶ場であり、生きた主権者教育です。生徒会活動及び生徒会役員選挙を通して、自分たちの未来は自分たちでつくることができるということを学んでほしいです。

1 年生の数学の授業は、等式の性質について、移項の考え方と方法について学んでいました。左辺から右辺へ数や文字を動かすと符号が変わるのが移項ですが、なぜそうなるのかについて丁寧に扱っています。まず、等式はイコール（=）を挟んで両辺が同じ重さ（量）であるとイメージします。例えば、 $x + 5 = 8$ であれば、 $x + 5$ と 8 が同じ重さ（量）でなければならないということです。左辺と右辺が同じ重さなので、両辺に同じ重さをたしたりひいたりしても、バランスが保たれるということになります。



上記の方程式を解く場合には、 $x =$ の形にしたいので、両辺から 5 をひけばよいことになります。つまり、 $x + 5 - 5 = 8 - 5$ となり、 $x = 8 - 5$ となります。これが等式の性質の基本です。この手続きを簡便化させると、左辺の $+ 5$ を右辺に移項させて、符号が変わり $- 5$ になるという手続きが成立します。

同じようなことは、小学校でも学習しました。たしかめ算といわれるものです。 $3 + 5 = 8$ という計算が正しいかどうかを確かめる方法として、 $8 - 5$ を行い 3 になることを確かめるのです。また、 $3 \times 5 = 15$ という計算が正しいかどうかを確かめるときには、 $15 \div 5$ を行い 3 になることを確かめます。小学校では、たしかめ算を通して、たし算とひき算、かけ算とわり算が、逆算の関係にあることをとらえます。小学校での学習が、中学校において等式の性質と移項という数学的な見方に拡張されていくのです。